

# Disaster X Smartphone



Created By : digital life supporters net  
<https://dsapo.org/>

お住まいの地域で「災害時のスマートフォン活用」講座を開催します

目的: 消防、救急、行政、誰もが被災者になる中で、自分自身でできることや家族、隣近所、地域等でできることを改めて考え、「災害に強い地域」になるためのICTサービス利活用方法を学ぶ

## 災害時のスマートフォン活用

～行方不明者ゼロを目指して～

自分を守る！家族を守る！  
いざというときのスマートフォン活用法を確認しましょう

■ 講習会の内容（一部）

- ・災害時の無料通話
- ・自分の居場所を送る
- ・災害時なぜネットなのか
- ・子どものスマホに設定しておくアプリなど

※内容は変更になる場合があります

日時	月 日( ) 時 分 ~ 時 分
会場	
持ち物	ご自身のスマートフォン アイフォーン、アンドロイド可 LINEアプリの利用登録を済ませておいてください
申込	定員 名
主催: お問合せ: 講師:NPO法人デジタルライフサポートーズネット	

「災害時のスマートフォン活用」講座

内容:

- ・災害時の無料通話
- ・自分の居場所を送る
- ・災害時なぜネットなのか
- ・子どものスマホに設定しておくアプリなど

時間: 60~90分程度

定員: 10名程度～

ICTは、防災・教育・医療・コミュニケーションなど、社会の様々な場面で活用され、私たちの生活を豊かにしています。しかし、急速な発展に伴うデジタルデバイドや、情報リテラシーの不足といった課題も同時に存在します。

デジサポは、誰もが多様な価値観やライフスタイルを持ちつつ、ICTの恩恵を平等に享受できる「共生社会」の実現を目指し、様々な取り組みを行っています。その一環として、本書をご活用いただけましたら幸甚です。

災害×スマートフォン 2024年9月1日 第2版

活動にご賛同いただいた皆様の寄付金により印刷製本されています。

作成者: 特定非営利活動法人 デジタルライフサポートーズネット <https://dsapo.org/>  
 © 2024 Specified Nonprofit Corporation Digital Life Supporters Net

# 【本書の目的】

近年、大規模災害の発生により多くの人命が失われ、また避難生活の長期化など、全国各地で甚大な被害が相次いでおります。インターネットがライフラインとなった今、災害時のスマートフォン活用法の周知を図るために本手引書を作成致しました。ご家族や地域の方々と災害の備えを話し合われる際にぜひ本書をご活用ください。

本手引書を使った講座では、チェック表を用いて、災害時の情報収集や安否確認など、具体的な操作方法を学びます。講座後も、日常的にスマートフォンを操作し、知識を定着させることで、いざという時に慌てず冷静に対応することができます。

チェック表				
ライトを点ける	SNSで電話する	Wi-Fiを確認		
位置情報を送信	災害情報を視る/聞く	ブザーを鳴らす		
モバイルバッテリー	有線イヤホン	災害通知アプリ		



「災害時のスマホ活用講座」の様子

# 【災害時のスマホリテラシー】



連絡はLINEなどのSNSで  
電話は通じない



撮影して記録  
メモ



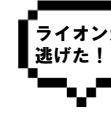
イヤホンを使って通話  
イヤホン



スマホ点灯で  
懐中電灯  
懐中電灯



使い終わったら  
直ぐに画面オフ  
節電



公の情報を基に判断  
あいまいな情報は  
シェアしない  
デマに注意



リラックスの  
時間をとろう  
音楽やゲーム



スマホの操作を  
手助けしよう  
HELP



AIで生成した画像

# 【日常的に使う】

## ■ 物品



充電ケーブル



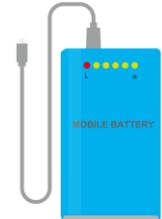
電源アダプタ



有線イヤホン



乾電池

モバイルバッテリー  
(充電式/乾電池)お薬手帳や  
薬の写真

## ■ アプリ

連絡/電話



LINE

情報収集

NHK  
ニュース・防災

ブザー/地域情報

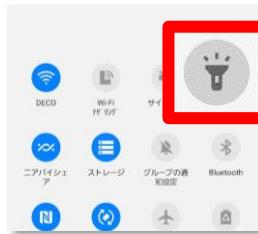


アイチポリス



# 【スマホライト】

## ■ Android

ペットボトルを  
乗せて簡易照明注1時間で約10%  
バッテリーを消費

## ■ iPhone



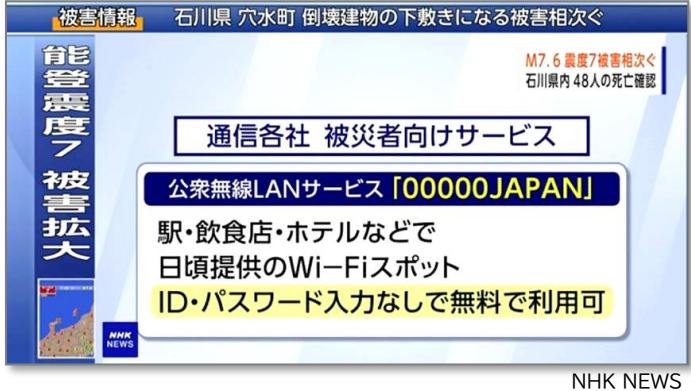
## ■ バッテリーを節約するには



- ✓ バッテリーを省電力モードにする
- ✓ 画面を暗く、またはダークモードにする
- ✓ 「圏外」の時は機内モードにする
- ✓ 停電しているときはWifiをオフにする
- ✓ Bluetoothや位置情報も必要な時だけオンにする

# 【00000JAPAN Wi-Fi接続方法】

災害時にドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天などの通信キャリアが垣根をこえて無料開放する公衆無線LANサービス



設定



00000JAPAN等により無料開放された無線LANの利用について(注意喚起)

災害時に被災者がインターネットに接続できるよう、通信事業者が公衆無線LANのアクセスポイントを無料で開放する「00000JAPAN」(ファイブゼロ・ジャパン)は、安否確認や情報収集等の手段として重要なものです。

一方、スマートフォンやパソコンがあれば認証手続なしにインターネットに接続でき、緊急時の利便性を優先するため通信の暗号化等のセキュリティ対策が講じられておらず、通信内容の盗聴や偽のアクセスポイントを用いた情報の窃取が行われるおそれがあります。そのため、個人情報等の入力は極力避けていただくよう、ご注意をお願いします。<総務省>

# 【地域の情報を確認する】

## ■ 行政のサイトを検索する

左側: 濑戸市 災害情報 (Google検索結果)

中央: 濑戸市 Seto City (公式ウェブサイト)

右側: トーク (LINEグループ画面)

情報入手したい行政の公式LINEを登録しておこう

## ■ コミュニティFMを聞く

地元コミュニティFMが聞ける主なアプリ



FMプラプラ

Radiko  
(ラジコ)Radimo  
(レディモ)myTuner  
(ラジコ)

FMプラプラ画面

Radimo画面

## 【自分の場所を送信】



## 【電話／安否を登録・確認】



災害時には電話回線は規制され繋がりにくくなります。インターネットの電話を利用しましょう。また、被災地域以外からの電話(見舞い呼)は控えましょう。





## 【災害情報を確認】

- ◇ 最新ニュースや災害情報を速報で
  - ◇ 災害・避難情報をプッシュ通知
  - ◇ マップ上で雨雲や台風情報をチェック
  - ◇ さまざまなライブ配信も



#### 【通知の種類・地域を設定】

ご自身の地域やご家族の地域の設定と、通知して欲しい災害情報の種類を設定します。



「NHKニュース・防災アプリ」の利用に費用はかかりません。ただし、インターネット接続に必要な費用や通信料などはかかります

